

様式第2号(第9条関係)

会 議 録

会議名称	令和4年度 第2回 大空町廃棄物減量等推進審議会	
開催日時	令和4年10月31日 (月)	午後6時30分から 午後7時28分まで
開催場所	大空町役場 1階1号会議室	
出席者の氏名	坂本 一光 委員 菅野 宏治 委員 藤本 京一 委員 山本 幸一 委員 岩原 繁 委員 原本 光枝 委員 河西 美香 委員 田中 秀美 委員 嶋崎 武 委員 副町長 鈴木章夫 事務局：星加 政志 住民課長 山本 晃 住民福祉課長 佐藤 住民課住民グループ主幹 下元 住民福祉課住民グループ主幹 阿部 住民課主査	
傍聴者の数	なし	
会議資料の名称	令和4年度第2回大空町廃棄物減量等推進審議会 議案、町のごみ処理に関する状況等の関係資料	
審議内容及び結果	【審議内容】 会長・副会長選任、町のごみ処理について 【審議結果】 1 開会 2 委嘱状交付・副町長挨拶	

- 委嘱状交付（机上配置による）
- 副町長挨拶要旨
 - ・ 令和４年１０月、令和７年４月からの段階的なごみ処理手数料の価格改定に至るまでの積極的な審議等に謝意
 - ・ ２０５０年のゼロカーボン達成に向けて、地球温暖化等の諸問題への対応は、待ったなしの状況である。ごみ処理問題にも密接にかかわる内容であるため、委員各位には引続き審議会における議論等を通じて町の施策等に対する御助言等をお願いしたい。

3 議事

(1) 会長・副会長の選出

- 審議会委員の互選により、会長に坂本一光委員、副会長に菅野宏治委員が選任された。

(2) 大空町のごみ処理について

- 事務局から、資料等に基づき説明

[質疑・意見等]

- ◆会長：網走市、美幌町、斜里町、小清水町、大空町の１市４町で構成する廃棄物広域処理協議会の会合等の開催頻度は、どの程度か。
- ◇事務局：不定期ではあるが、２ヵ月に１度程度の開催頻度である。
- ◆会長：次期焼却処理施設整備の方向性は、いつまでに出したいと考えているのか。
- ◇事務局：多くの自治体が、次の最終処分場の整備を考えていかなければならない時期にきている。焼却処理施設の整備と密接に関係する内容であるため、今後１年～２年程度で一定の方向性を見出したい。

◆委員：広域処理のメリット、デメリットを整理する必要がある。焼却処理施設立地場所が被災して施設利用が困難になるようなことも想定しておかなければならないと考える。

◇事務局：町として災害廃棄物処理計画を策定しており、災害発生時の廃棄物処理は町内だけでなく町外、管外なども念頭に置いている。

◆委員：大空町で災害が発生し、廃棄物処理が困難になった場合は、広域処理協議会構成自治体において廃棄物を受け入れてもらえる体制を整備すると理解してよいのか。

◇事務局：具体的には、災害が発生したその時々に応じて対応が検討されるものと考えている。

(3) その他

○ 廃棄物減量等推進審議会では先進地視察を実施することを確認した。

○ 視察先は、紋別市にある廃棄物広域処理施設とする。視察時期は、11月下旬から12月上旬で調整する。

【以上、午後7時28分 閉会】